

<このリーフレットは検診結果が届くまで保管しましょう>

医療機関名	電話番号	胃	大腸		肺	医療機関名	電話番号	胃	大腸		肺
			カメラ	X線					カメラ	X線	
iひふ・大腸 いがり弘之由美子クリニック	558-2323	○	○			すぎやま内科内視鏡クリニック	563-3363	○	○		
あすなる南矢野目クリニック	555-5766	○				すずきクリニック	567-2661	○	○		
荒井胃腸科内科	558-2577	○	○			せのうえ健康クリニック	554-5757	○		○	
あらいクリニック	593-1020	○				高野医院内科消化器内科	573-9863	○	○		
安斎外科胃腸科医院	535-3353	○				武田中央医院	559-1664	○			
いがらし内科消化器内科クリニック	597-8690	○				手塚クリニック	535-0550	○			○
いずみさとう内科	563-7573	○				天神橋クリニック	528-1155	○	○		
岩崎消化器科内科医院	554-5841	○		○		とやのクリニック	544-1122	○			
大原総合病院	526-0300	○	○		○	なかむら外科内科クリニック	535-7518	○	○		
おおひら内科クリニック	534-6336	○	○			野田循環器・消化器内科外科クリニック	559-1133	○			
おがたクリニック	526-2626	○				のだまち胃と腸のクリニック	563-7872	○	○		
おぐらじクリニック内科小児科消化器科	523-4155	○	○			福島県保健衛生協会総合健診センター	546-3533	○			
御山内科クリニック	533-2101	○				福島西部病院	533-2121	○	○	○	○
上野寺内科・呼吸器内科クリニック	592-2111	○				福島赤十字病院	534-6101	○	○	○	○
上松川診療所	558-1111	○		○		福島セントラルクリニック	522-7701	○	○		
かんの消化器科外科医院	533-3801	○	○	○		福島第一病院	557-5111	○	○		○
菊池クリニック	535-4091	○		○		福島中央病院	546-4911	○			○
久津医院	525-4561	○				福島南循環器科病院	546-1221	○			
クリニック21	521-5581	○				藤原消化器内科医院	545-3300	○	○		
黒岩内科医院	545-7733	○				ふれあいクリニックさくらみず	559-2664	○	○		
児玉胃腸科内科	533-6622	○				本間内科	536-0063	○			
この花内科クリニック	563-1287	○				松川クリニック	537-2055	○			
済生会福島総合病院	544-5171	○	○	○	○	松川中央医院	567-3355	○	○		
さいとう医院	542-3030	○				三河台内科	534-7832	○			
酒井内科クリニック	531-1781	○				南東北福島病院	593-5100	○	○	○	
さくま内科クリニック	525-2700	○			○	南福島クリニック	546-4016	○			
笹木野みやけ内科外科	559-1511	○	○			村島医院	542-2131	○	○		
さとう胃腸科内科	545-8668	○	○	○		八子医院	534-4850	○	○		
さとうクリニック内科・消化器内科	545-6111	○	○			八子胃腸科内科クリニック	533-1215	○	○		
宍戸医院	553-5010	○	○			やまもり内科	529-5565	○			
しのぶ病院	546-3311	○	○		○	わたなベクリニック	593-3172	○			
須川診療所	531-6311	○		○	○	わたり病院	521-2056	○	○		○
						県立医科大学附属病院					

胃・大腸・肺がん検診を受ける方へ

わが国のがんによる死亡原因の上位に位置するのが、肺がん・胃がん・大腸がんです。
65歳以上の方の肺がん検診は、結核検診も兼ねています。

精密検査は必ず受診しましょう

大切な命を守るために、【要精検】と判定された場合は自己判断せず、必ず精密検査を受けてください。また、【精検不要】の場合でも、気になる症状がある場合は医療機関に相談してください。

*精密検査の結果は、福島市と検診を受けた医療機関に報告されます。

令和4年度 福島市の精密検査結果(人数)

検診項目	がん+疑い	精密検査
	/精密検査受診者	未受診者
肺がん	100/1377	226
胃がん	147/674	40
大腸がん	79/1413	516

肺・胃・大腸がんの精密検査受診者のうち、**9.4%**の方ががんやがん疑いの診断を受けています。
令和4年度は要精検者のうち**18.4%**の方が未受診でした。

継続して検診を受けましょう

検診ですべてのがんが発見できるわけではありません。がんは発生してから一定の大きさになるまでは発見できず、検査では見つけにくいがんもあります。

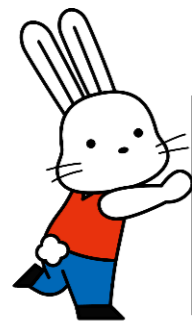
また、がんでなくても【要精検】と判定されたり、見つかったがんを放置して直ちに死に至らなくても治療を受けなければならない場合もあります。しかし、そういったデメリットよりも、検診を受けることで死亡率が下がるメリットの方が大きいため、継続して受診をしてください。

*精密検査を含む検診結果は、検診の精度向上、およびがん研究等に限り利用させていただいております。

胃がん検診について

対象年齢は50歳以上。胃内視鏡(カメラ)検査は、原則2年に1回ですが、指導区分が「異常なし」以外の方は翌年も受診できます。

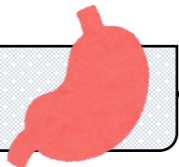
胃透視検査は、当面の間毎年受診できます。



がんの中には急速に進行するがんもあります。
痛み、不快感など気になる症状がある場合には次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

問合せ先 福島市保健所 健康づくり推進課 電話番号 024-525-7680

胃がん検診



胃透視検査

発泡剤(胃を膨らませる薬)とバリウム(造影剤)を飲み胃の中の粘膜を観察する検査です。

胃内視鏡検査(胃カメラ)

口または鼻から胃の中に内視鏡を挿入し、胃の内部を観察する検査です。

- ・検査当日は朝食が食べられません。
- ・常用薬、アレルギーがある場合は医療機関にご相談ください。
- ・胃のX線検査では、バリウムで便秘になったり、腸内で詰まって腸閉塞を起こすことがあります。また過去にこの検査で問題があった方、手術を受けて1年以内の方、水分制限を受けている方はご相談ください。
- ・胃内視鏡検査では、前処置として喉や鼻の麻酔を行います。
- ・同日に精密検査(生検)を実施する場合、保険診療となり別途費用が生じます。

精密検査

(保険診療となります)

胃内視鏡検査(胃カメラ)を行います。検査で疑わしい部位が見つければ、生検(組織を採取し、悪性かどうか調べる検査)を行う場合もあります。

大腸がん検診



便潜血検査

大腸にがんができると便がこすれて目に見えない出血が起こります。また、出血は毎回起こるものではないため2日分の便を検査します。採取した便は提出するまで冷蔵庫あるいは冷所に保存してください。

精密検査

(保険診療となります)

原則として全大腸内視鏡検査を行います。下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入して大腸を撮影し、がんやポリープなどがいないか調べます。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。
※大腸の奥まで観察することが困難な場合は他の検査方法で行います。

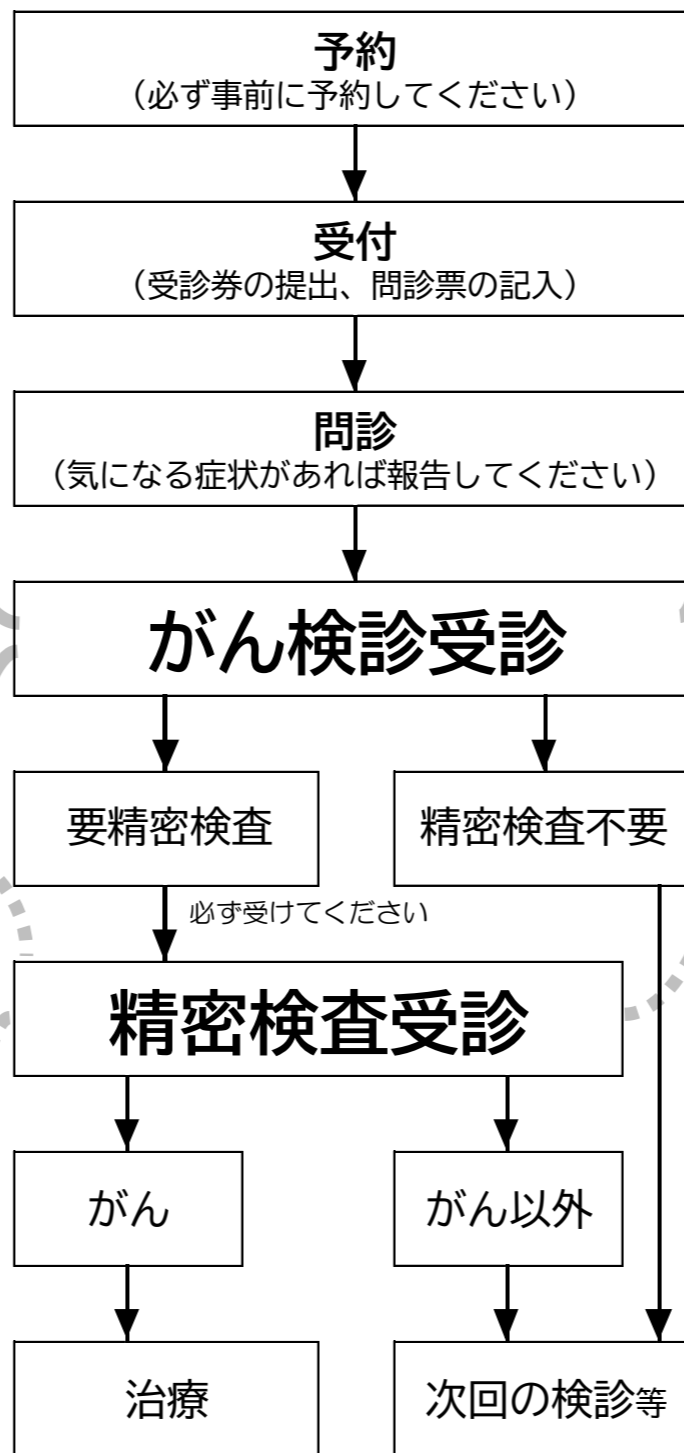
内視鏡検査と大腸のX線検査の併用法

大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合には、内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。

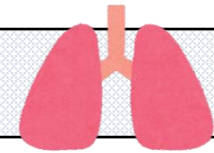
大腸のX線検査(注腸)

下剤で大腸を空にした後に、肛門からバリウムを注入し、空気で大腸を膨らませて大腸全体のX線写真を撮影する検査です。

検診の流れ



肺がん検診



肺のX線検査

胸全体を写すため、立位で大きく息を吸い込み、しばらく息を止めて撮影します。 ※放射線による健康被害はほとんどありません。

痰の検査

痰に含まれる細胞や成分を測定してがん細胞の有無を調べます。50歳以上、喫煙指数(1日の本数×吸った年数)が600以上の人が対象で、3日間起床時に痰を取り、専用の容器に入れて提出し検査します。
※肺X線撮影とセットのため単独での検査はできません。

精密検査

(保険診療となります)

CT検査(コンピュータ断層撮影)

X線を使って病変が疑われた部位の断面図を撮影し詳しく調べます。

気管支鏡検査

気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して、病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し、悪性かどうかを診断します。

たばこと病気

節煙・禁煙にトライ!

喫煙は命を落とす最大の危険因子です。例えば肺がんでは、男性で5倍、女性で4倍亡くなる可能性が高くなり、たばこを吸う本数、年数が多いほど肺がんになりやすいと研究結果が出ています。また、フィルターを通さない“副流煙”の方が有害物質が多く、受動喫煙者への影響も大きくなります。加熱式タバコも喫煙に含みます。

